

この皮膚病の原因は？

Ⅰ H Ⅰ 播磨病院 皮膚科 森田秀樹

（平成27年度相生市健康大学講座講演要旨）

この皮膚病の原因は？という質問をよく受けます。卵を食べて蕁麻疹が出るような場合は自分でわかりやすいのですが、何かよくわからないけど発疹が出現していたら原因は何ですか？と診察時に質問されると思います。今回は日常診療でよく聞かれるこの皮膚病の原因は？にお答えします。

1)皮膚が紫色になるのですが。

紫斑と言われる状態です。紫斑か紅斑かを区別する必要があります。紅斑は押さえると色が消えますが、紫斑は消えません。よく見られるのは前腕部の紫斑です。ちょっとこすれただけなのにこうなると受診されます。多くは加齢によりますが湿疹ではないので湿疹の塗り薬は使えません。足の紫斑は血管炎の可能性があり、広範囲の紫斑は血液検査で血小板数を調べたりする必要があります。

2)皮膚が痛くなりしばらくしたら水疱が出来ました。

帯状疱疹と考えられます。顔や体の片側性に痛みを生じ数日してから水疱が出現します。一般にヘルペスと言われていますが、原因ウイルスは水ぼうそうの水痘ウイルスです。ひどくならないうちに治療しないと、皮膚症状は良くなっても痛みが長く続く場合があります。

水疱を形成する皮膚病は帯状疱疹以外に、自己免疫による水疱症がありますのでこの場合は皮膚科専門医による診断が必要です。

3)この発疹は薬が原因ですか？

原因は薬によるのでしょうか？という質問はよくされます。発疹で外来を受診される多くの方は血圧や糖尿病などの薬を内服されており、説明書には発疹が出現することが有ると記載されていますので、薬が原因か？と質問されるのは当然です。しかし、実際には、原因が薬でない場合も多く、薬剤性かそれ以外の原因かはアレルギーテストなどで区別する必要があります。

（文責：森田秀樹）